



R3 特別支援教育セミナー 報告

～令和3年8月2日～

令和3年9月 第41号

気仙光陵支援学校

支援部・研究部発行

(文責)坂本 容子

今年度のセミナーでは「将来をイメージした早期からの一貫した教育支援」をテーマに、就労期、学齢期、幼児期それぞれのライフステージに応じた支援について3名の方に事例発表していただきました。昨年度に引き続き、コロナ感染症に配慮して短縮しての実施となりましたが、気仙管内36名の方々にお集まりいただき、社会参加を見据えた支援や引継ぎの大切さについて情報共有や意見交換をすることができました。

ライフステージに応じた一貫した教育支援



就労期の支援

◆「支援学校卒業生の進路について」

気仙障がい者就業・生活支援センター 主任就業支援ワーカー 鈴木 拓 氏

気仙圏域の障がい者雇用の情勢や、気仙障がい者就業・生活支援センターの機能、様々な就労形態、就労アセスメントの流れ等について、具体的に教えていただきました。

子どもの将来像をイメージするにあたって、支援者側が就労形態等を知っておくことの重要性や、障害受容を進めることの大切さを学びました。



学齢期の支援

◆「支援が必要な生徒を支える校内体制について」

大船渡市立大船渡中学校 教諭 千葉 尚子 氏

通常学級で配慮の必要な生徒の教育支援について、困り感に早期に気付く、校内で支援方法を共有し、各教科等や生活場面での具体的な指導に生かした事例を発表していただきました。

校内特別支援会議の開催や個別の指導計画の作成などを進める要となる特別支援教育コーディネーターの具体的な役割を教えていただきました。



幼児期の支援

◆「ひまわり教室（児童発達支援事業）と各関係機関との連携について」

大船渡市ひまわり教室 児童発達支援指導員 刈谷 綾 氏

ひまわり教室での早期療育の様子や活動内容、在籍の保育園や各機関と連携して必要なサポートを行っている様子を教えていただきました。

また、就学に向けて保護者の思いに寄り添った教育支援の進め方や、小学校との引継ぎやサポートファイル「つむぎ」の内容や活用についても共有することができました。



本校では、随時、特別支援教育にかかわる相談を受け付けています。子どもの特性に応じた環境作りや支援方法など、一緒に考えましょう。各市町教育委員会を通してお申し込み下さい。教材や書籍の貸出もしておりますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

気仙光陵支援学校 支援部 坂本 容子 (☎0192-27-9856 小中職員室)

